

陳情・意見書

安心して医療を受けるため 重度障害者医療費助成制度の継続を

平28陳情第10号 重度障害者医療費助成制度継続についての陳情

▼願意 重度障害者医療費助成制度において、障がい児者・透析患者が継続して助成を受けられるようにしてほしい。

▼付託委員会 文教福祉常任委員会

▼委員会での審査状況 委員会としては、「重度障害者医療費助成制度は、障がい者が安

心して医療を受ける上で大変重要な制度であるため、今後も継続すべきである。」との意見の一致を見た。

▼本会議での賛成討論 重度障がい者の健康の維持および生活の安定に役立てるとともに、福祉の増進を図る上で必要な制度であることから、賛成する。

▼採決の結果 委員会 採択(賛成全員) 本会議 採択(賛成全員)

人材確保・離職防止のため 介護従事者の処遇改善を

平28陳情第11号 介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現を求める陳情

▼願意 介護従事者の人材確保・離職防止の具体的な対策および安全・安心な介護体制の確立を実現させるため、介護現場で働くすべての介護従事者の処遇改善を図り、介護施設の人員配置基準を利用者2人に対して介護職員1人以上に引き上げることなどについて、国に意見書を提出してほしい。

▼要旨 安全・安心の介護を実現するため、介護職員の処遇改善について、具体的な対策を講じるよう、国に意見書を提出するもの。

▼採決の結果 本会議 趣旨採択(賛成全員)

▼採決の結果 本会議 原案可決(賛成全員)

安全・安心な医療・介護を実現するため 医療提供体制の充実を

平28陳情第12号 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員のため国に意見書提出を求める陳情

▼願意 安全・安心の医療・介護を実現するため、医師・看護師、医療技術者、介護職員を増員すること。また、夜勤交代制労働における労働環境を改善することなどについて、国に意見書を提出してほしい。

▼採決の結果 本会議 趣旨採択(賛成全員)

▼採決の結果 本会議 原案可決(賛成全員)

議提議案第8号 安全・安心の医療・介護実現のため医師・看護師等の大幅な増員と労働環境の改善を求める意見書の提出について

不採択となった陳情

平28陳情第9号 名古屋38番地の認可保育園建設計画地の見直しを求める陳情

▼願意 名古屋38番地周辺は、閑静な住宅街であるため別の場所に変更し開園するよう事業者と慎重に協議し、また、事業者と住民の意見が合意されるまで補正予算(保育園建設のための補助金)の執行を停止するよう、市に要請してほしい。

▼付託委員会 文教福祉常任委員会

▼採決の結果 委員会 不採択(賛成少数) 本会議 不採択(賛成少数)

平28陳情第13号 人間らしい生活の保障を求める陳情

▼願意 生活保護受給者援護のため、夏季加算、年末の福祉手当を制度として創設することや母子加算をはじめとする加算、扶助費などの見直しをやめ、生活扶助基準額を削減前に戻すことなどについて、国に意見書を提出してほしい。

▼付託委員会 文教福祉常任委員会

▼採決の結果 委員会 不採択(賛成少数) 本会議 不採択(賛成少数)

平28陳情第15号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情

▼願意 中小企業支援策の拡充を実現するため、最低賃金を早期に時給千円以上に引き上げることや全国一律最低賃金制度の確立など地域間格差を縮小させるための施策を進めることなどについて、国に意見書を提出してほしい。

▼付託委員会 環境都市常任委員会

▼採決の結果 委員会 不採択(賛成なし) 本会議 不採択(賛成なし)

平28陳情第16号 公民館の使用料値上げ反対の陳情

▼願意 公民館の理念、目的から、公共施設使用料の見直し案による値上げをせず、市民への周知、コンセンサス(合意)をさらに丁寧に行うことなどについて、国に意見書を提出してほしい。

▼付託委員会 総務常任委員会

▼採決の結果 委員会 不採択(賛成少数) 本会議 不採択(賛成少数)

平28陳情第14号 若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情

▼願意 安定・安心できる年金制度を確保することなどについて、国に意見書を提出してほしい。

▼採決の結果 本会議 原案可決(賛成全員)

議提議案第8号 安全・安心の医療・介護実現のため医師・看護師等の大幅な増員と労働環境の改善を求める意見書の提出について

議案審議

(議案審議は1面にも掲載)

事務上のミスに対する責任を表すため 市長および副市長の給与を減額

議案第86号 秦野市特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正することについて

▼要旨 市長および副市長の給与を減額して、下水道事業債の過大借入れ、土地取用手続きでの瑕疵など一連の事務上のミスに対する責任の一端を表すため、改正するもの。

改正の主な内容は、平成29年1月から3月までの間、給料月額の間減額割合を市長は100分の35、副市長は100分の20とするもの。

なお、この条例の施行日は、29年1月1日とするもの。

▼本会議での主な質疑

問 一連の事務の不振、そして市政の信頼を損ねてしまった状況をどのように考えているのか。

答 公正で平等な行政執行をする上で、組織を構成する職員に適切な判断能力や実行する力があることは大前提であるが、それが無かったと言わざるを得ない。信頼回復のため、全庁を挙げて誠実に取り組んでいく。

問 市長と副市長の給与を3カ月間減額するが、算出した根拠と具体的な減額割合はどうか。

答 今回の減額割合と期間は、本市における過去の例や他市の状況を参考にし、市長と副市長で決定

した。具体的には、市長が84万5138円から64万6282円、副市長が73万2672円から65万1264円となり、総額で108万5016円の減額となる。

問 公共下水道使用料の賦課漏れにおいて、近隣市では、関係職員が財政上の穴を補填する意味で寄付という形をとられた。本市はこの行動をどのように考えるか。

答 再発防止のため、全庁的、横断的な調査チームをつくる。併せて寄付の件についても議論する。

▼本会議での賛成討論 本来であれば、公共下水道使用料の賦課漏れの結果が判明し、すべてが終了した時点で一連の責任を表明するのが筋であるが、議会側からけじめをつけるべきと要請した経緯を重く受け止めた結果であることは評価する。市長をはじめ、管理職職員一人一人がこの問題をきっかけに責任ある業務がどうあるべきかを真剣に考え、二度とこのような失態を繰り返さないよう、市民の信頼回復に努めることを期待する。

▼採決の結果 本会議 原案可決(賛成全員)

議案第80号 平成28年度秦野市一般会計補正予算(第4号)を定めることについて

▼要旨 歳入歳出それぞれ5億9440万9千円を追加し、繰越明許費の設定、債務負担行為の追加および地方債の変更をするもの。

▼付託委員会 予算特別委員会

▼委員会での主な質疑・要望 (総務分科会)

問 土地を購入する際、土地の面積などを確認して、契約するための資金を工面するが、土地取得における基本的な手順はどうか。

答 単体での土地取得は、土地所有者との交渉などのタイミングもあり、同一年度で用地測量と買収の予算を計上し、執行する。(文教福祉分科会)

市道の維持補修に係る経費などの 補正予算を賛成全員で可決

地域介護・福祉空間整備推進交付金について

▼要旨 本事業は、介護ロボットなどの導入経費を助成するものであるが、申請した事業者数が少なかつたため、積極的に制度を活用してもらえよう、努めてほしい。

(環境都市分科会)

市道維持補修工事等経費について

▼要旨 安全に道路を利用できるように

に意見書を提出するもの。

▼本会議での反対討論 限られた財源の中で、子育て施策などを充実していくためには、一定の所得制限は必要であることなどから、反対する。

▼採決の結果 本会議 原案可決(賛成多数)

医療費を中学3年生まで 全額助成する制度の整備を

議提議案第6号 小児医療費助成制度の拡充を求める意見書の提出について

▼要旨 すべての子どもの医療費を窓口負担のない現物給付方式とし、中学3年生までの全額助成を国の制度として早急に整備するよう、国

に意見書を提出するもの。

▼本会議での反対討論 限られた財源の中で、子育て施策などを充実していくためには、一定の所得制限は必要であることなどから、反対する。

▼採決の結果 本会議 原案可決(賛成多数)